



千葉ジェッツふなばしによるバスケットボールクリニックが開催されました



▲練習後に全員で記念撮影

7月31日に市民体育館で、本市との包括連携に関するブースタウン協定により、千葉ジェッツふなばし主催によるバスケットボールクリニックが開催され、講師として大和田中学校出身の田代将也コーチのほか、ラシード・ファラーズ選手も参加し、市内中学校のバスケットボール部員に指導を行いました。

クリニックでは、相手にスチールされないパスや次の攻撃につながるパスなど、試合で役立つ技術の指導が行われました。

参加した村上中学校バスケットボール部の皆さんは「実戦形式の練習で分かりやすく指導してもらえたので、今日教わったことを次の試合で試してみたいです」と話してくれました。

市民伝言板

●傾聴ボランティア養成講座・全4回 傾聴ボランティアに関心を持つ人向けの養成講座。9月8日・15日・22日・29日いずれも木曜日午後1時30分～4時。福祉センター。費用2,000円。申し込みは、往復はがきに氏名・住所・電話番号を書き、〒276-0031八千代台北17-4-21椎名美代子宛（語りパートナーの会）へ郵送。問い合わせは☎090-2677-4471へ。本講座は、市民活動団体支援金交付制度対象事業です

ありがとうございました

八千代幼稚園 理事長・広瀬幸吉様から「幼児教育に役立ててほしい」とご自身の著書「こころ・からだ・こ



とばを育てる」10冊を市立図書館に寄贈していただきました。

著書では、夫婦で半世紀以上にわたる幼稚園運営で培った教育理念や講演会での講演内容などがまとめられています。

広瀬理事長は、幼児教育は教育の第一歩、園での教育を子どもたちの人生の基礎作りの場としたいと話されました。

ウクライナ支援事業映画上映会・音楽コンサートの収益が寄附されました

ウクライナ市民の救護や被災地の復旧・復興を支援するために実施したウクライナ支援事業として、4月23日に勝田台文化センターにて映画「ひまわり」の上映会が、また、5月22日に市民会館にてウクライナ支援コンサートが開催されました。

事業の収益金額の合計320万円は、ウクライナから本市に避難している家族2世帯に10万円ずつ、また、日本赤十字社のウクライナ人道危機救援金に150万円、公益財団法人日本ユニセフ協会のウクライナ緊急募金に150万円がそれぞれ寄附されました。市では、今後もウクライナ市民に寄り添った支援を行っていきます。

保育園の園児たちが「やっちのうた」をつくってくれました

市内の私立保育園「ChaCha Children Yachiyo（旧：茶々おおわだみなみ保育園）」では、市のイメージキャラクター「やっち」のことを大好きな園児たちが口ずさんでいた歌詞からヒントを得て、「やっちのうた」をつくってくれました。YouTubeチャンネル「八千代市やっち」で公開しています。やっちの特徴や好きなものなどが歌詞になっていて、簡単で覚えやすい曲な

ので、皆さんでも歌ってみてください。

右下のコードを読み取るとYouTubeチャンネル「八千代市やっち」で動画が再生されます。ぜひ、ご家族皆さんもご覧ください。



ミニ・ガイド

■精神障害者家族 対話と交流会 精神障害者（統合失調症）の患者を身内に持つ家族を対象に、精神障害者家族会「かぶらぎ会」の大賀会長を囲んで対話と交流の集いを開催します。8月25日(木)午後1時30分～4時、プラッツ習志野（習志野市中央公民館）北館研修室。申し込みは、電話かファクスで習志野八千代心の健康を守る会 渡邊☎453-6760へ

■手話講習会「手話にふれよう」・全12回 初級程度の手話とその他のコミュニケーション（要約筆記と盲ろう体験）。初心者対象。先着20人。9月13日・20日・27日、10月4日・18日・25日、11月1日・15日・22日・29日、12月13日・20日いずれも火曜日午後1時30分～3時30分、福祉センター。資料代2,000円。申し込みは8月31

日(木)までに市身体障害者福祉会☎485-8822へ

■電気使用安全月間 8月は経済産業省主催の電気使用安全月間です。夏場は感電死傷事故発生が最も多い時期です。電気の安全な使用を心がけ、上手に使いましょう。問い合わせは関東電気保安協会千葉事業所☎043-424-8211へ

■バーベキューガーデン無料開放デー 八千代広域公園内のバーベキューガーデンのオープン記念として1日限定で無料開放します。先着10区画（1組1区画のみ、1区画は6人まで）。8月28日(日)午前11時～午後2時30分。食材・飲料はご持参ください。申し込みは、8月21日(日)正午から電話で同公園バーベキューガーデン☎080-1263-4759へ。通常の予約は同公園ホームページで随時受け付けています

八千代歌壇

鶴岡 美代子選

手をつなぎのぼった夏のささえ堂記憶の君が輪郭になる

（八千代台西）伊藤 智子

青空を映す田圃に浮き苗を直して回る老農見ゆる

（大和田新田）諏訪 俊一

尋ねたる友の飼い猫十九歳チラリ見上げて置物になる

（ゆりのき台）池内きよ子

八千代市も遙かとなりぬ木曜に出されし封書が月曜に着く

（八千代台西）元村 泰介

晴れ、雨と日毎に天気変わるゆえ適応難し老いし体に

（天和田）紺野 正勝

黄身がふたつ茶柱が立った朝食によき日を信じて窓を開け

たり （天和田）坂井 ワカ

真夜中に父の操舵の船に乗り北方領土後にした日よ

（村上団地）菅野 紀子

新川の「七変化」名の青田辺ツバメ スズメの姿を見せぬ

（大和田新田）小針 光

選評 一首目、ささえ堂は螺旋状の造りの堂で会津など幾つかある。珍しい堂ではあるが、記憶は一緒に行った君の方がまさって、全てを囲む輪郭となって現れた君への相聞歌である。二首目、「浮き苗」の語に作者の繊細かつ確かな眼を感じる。若者不足の農の実態も窺える。三首目、老猫ゆえ一瞥後は関心を示さなかったのを見逃していない。「尋ね」は初めて行ったのだろう。四首目、「八千代市」は市役所のこと。最近、土、日の郵便配達が無くなった事への嘆きである。

やちよ川柳

八千代川柳連盟選

甘言の推奨株で墓穴掘る 緑が丘 宮崎 巖

ギアチェンジ牛歩の如く我が余生 緑が丘 関 正雄

梅雨入りでスコールと雷おまつき 八千代台西 伊藤 宙

やわらかくなったら君が君じゃなく 勝田台 喜田 橙

子に夢をひみつ道具のドラえもん 八千代台北 新木さち子

あたたかい心の声に聞くドア 村上団地 手塚 俊子

補助輪の子を速足のママが追い 高津 岡田やほこ

裏のない直が売りです出世下手 八千代台北 渡邊ひろし

ひまあるが遊ぶ金なし年金者 村上 佐藤 昌平

晩学へ奮起学びの門叩く 勝田台 伊藤 良江

値上がりで選ぶ品物狭められ 村上団地 押切 卓郎

リサイクル・ガイド 消費生活センター☎483-1151(代表) 5時。市内在住の人が対象です。【ゆずります・無料】▼花瓶・水盤/多種多数▼ステンレス伸縮竿/1本(1.7m)3.0m▼洗濯機かさ上げブロック(4個) 防振防音ゴム板付/縦19cm横19cm高さ11cm